

災害時における非常用電源の確保の充実について

1 目 的

大地震や突発的な事故等による大規模停電が発生した場合には、庁舎新館の地下に設置してある非常用発電機が発動し、非常照明や一部のエレベーター、電話交換機、各種警報装置、消火栓、揚水・排水ポンプなどに必要な電力を約30時間供給できる仕組みになっている。しかし、この非常用発電機が何らかの理由で稼働できない場合でも、災害対策本部活動の中で最も重要な被害情報の収集や伝達、指示などを行うことが可能な電力を確保することを目的とする。

2 整備内容

新館屋上に発電機5台を設置し、この発電機から5階の事務室、庁議室（災害対策本部長室）及び7階の会議室（情報通信室）内の照明、電話、テレビ、パソコン、プリンター、印刷機などに電源を供給する仕組みを構築する。

3 効 果

応急対策を協議する本部長室等の照明を確保するとともに、防災行政無線を使った区民への広報、東京都・地区センター・学校・警察・消防などの防災関係機関等との連絡や情報交換、被害情報の集計や報告、資料の作成などが可能になる。レイアウトは別紙を参照。

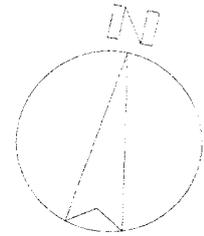
4 概算経費

約520万円（予備費で対応）

内訳	配線工事費	280万円、	照明器具	110万円、
	発電機5台	130万円		

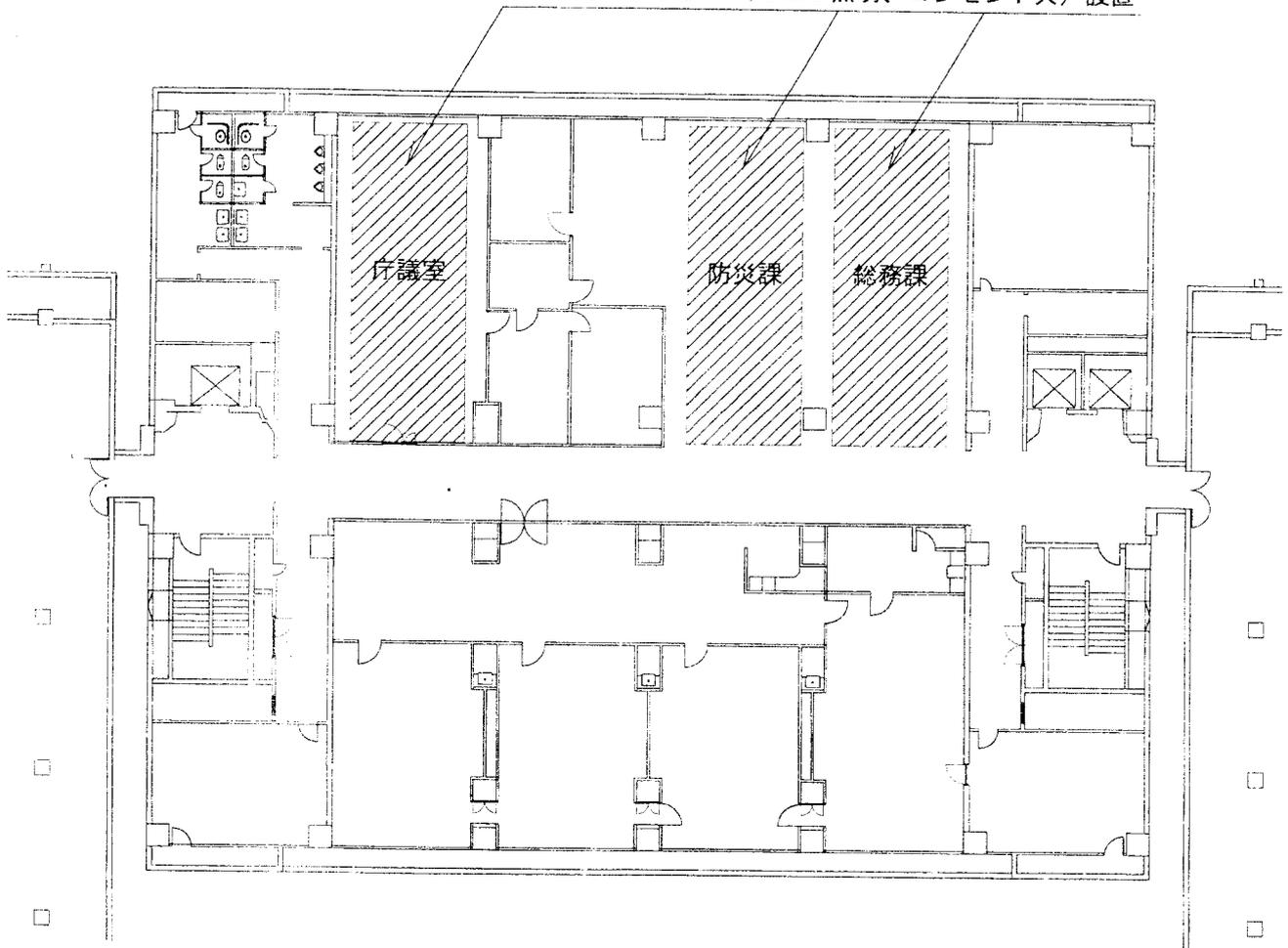
5 整備時期

9月中。

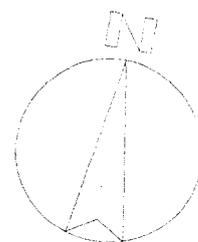


工事施工予定箇所

ライティングダクト (LED照明、コンセント共) 設置

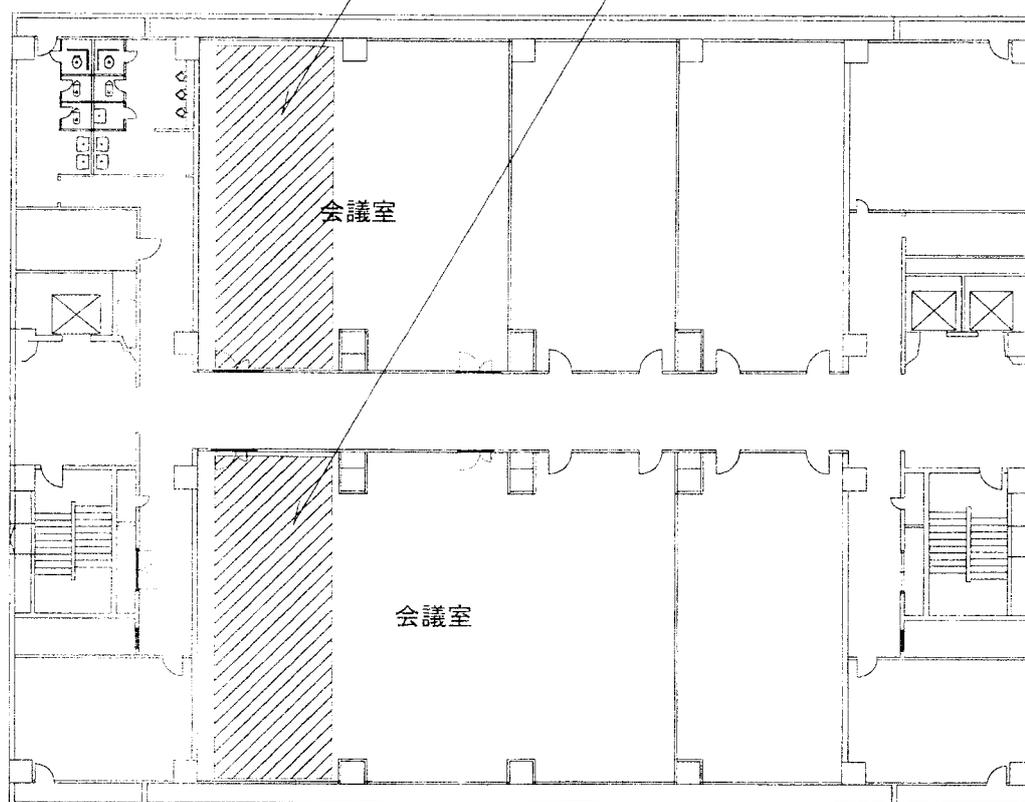


新館 5階平面図

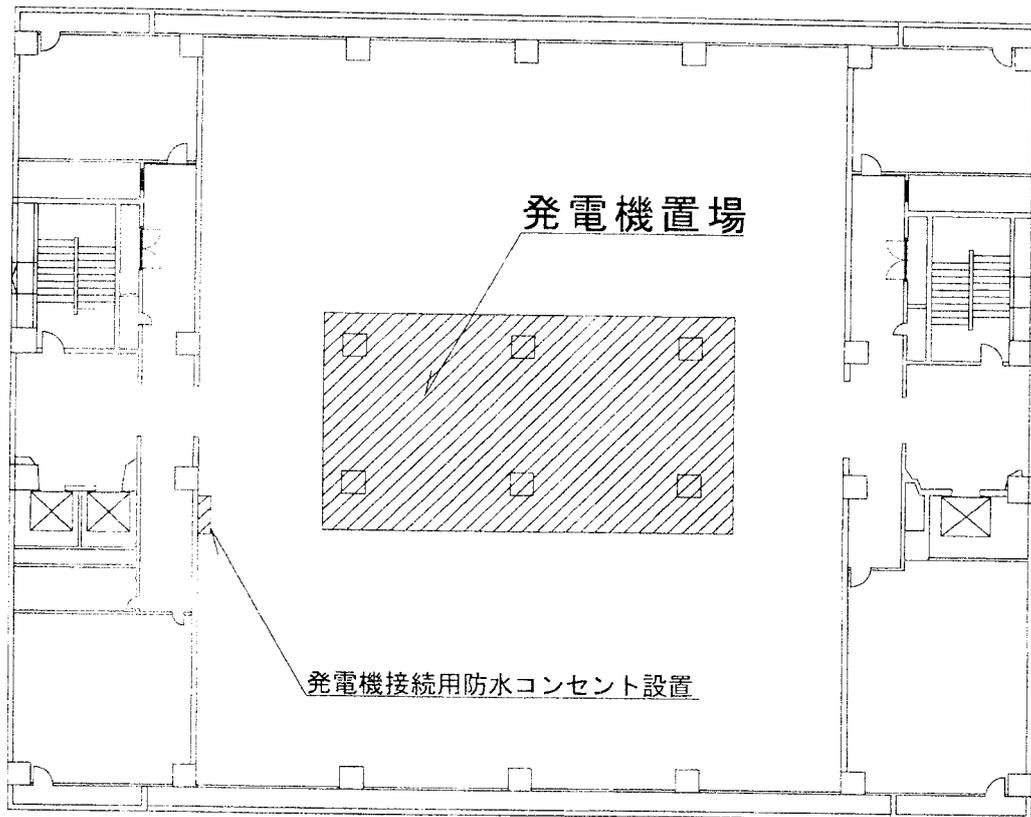
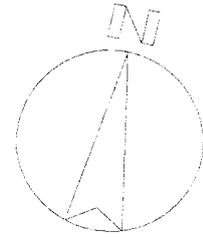


工事施工予定箇所

ライティングダクト（LED照明、コンセント共）設置



新館 7階平面図



新館 屋上平面図